

ふれあい

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

〒044-0121 北海道虻田郡京極町字三崎68番地

TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031

Eメールアドレス

kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

今年度は、新型コロナウイルス蔓延防止対策を徹底して、12月13日・16日・22日・24日にデイサービスセンターと介護予防センター合同で、クリスマス会を開催しました。

フラダンスの会・ヘルパーSUNの会・日本舞踊朱鳳会・居合道・フォークソングの会が来所され、様々な催し物を披露してくださいました。利用者様も大変喜び大盛況でした。ご参加いただきありがとうございました。



社協でインスタグラム
始めました!

フォローよろしく
お願いします!



謹賀新年

京極町社会福祉協議会 会長 清水 耕策



令和4年、明けましておめでとうございます。新年のご挨拶を申し上げます。

私は昨年の6月に会長に選任されました。歴代の会長さんをはじめ役員の方々の業績を大切にして、微力ながら懸命に努力して参りたいと存じますのでよろしくお願い致します。

昨年は一昨年からのコロナ禍が続き、東京オリンピックこそ開催されましたが、三密を避ける感染防止対策がとられ、多くの行事で中止や制限をされました。そのため京極町社協においても、恒例の「ふれあい広場」や「ほかほかまつり」などが開催出来ませんでした。次の二つの新しい活動ができました。その一つが「1人暮らし高齢者等かぎ預かり事業」であります。これは単に社協が高齢者から「鍵」を預かるものではなく、一人暮らしの孤立を防ぎながら、近所の人々が見守りをする事業です。それぞれの町内会と社協が協定を結び、協力関係を明確にしたことに意義がありました。もう一つは、「男性の会」のベンチプロジェクトの取り組みです。町内の休憩場所の少ない所に会員自らベンチを造り設置しました。社協の色々な活動に男性の参加が少ないのが現状ですが、その中で男同士が集い、ボランティア活動を続けていることは評価されています。

今年こそ、コロナ禍の終息への目途がつく年でありたいものです。社協としましては、今年は新しい体制になって2年目になります。役職員が一丸となって事業に取り組み、地域に住む皆様が生きがいのある楽しく安心して暮らせる地域づくりに邁進します。

皆様にとって今年が良い年でありますようにご祈念申し上げご挨拶とします。

京極町生活サポートセンター

令和3年度第1回市民後見人フォローアップ研修会を開催しました。

フォローアップ研修会は、町内の市民後見人養成講座を受講された方々を対象とした後見業務を円滑に進める為に行われる研修会です。

8か町村(倶知安町、留寿都村、真狩村、喜茂別町、ニセコ町、蘭越町、黒松内町、京極町)共同で行っています。第1回のフォローアップ研修会は、56名が参加し、講師に苫小牧市社会福祉協議会 総合支援室室長 古川義則氏を迎え「コロナ禍の成年後見活動」「後見業務に関する事例検討」を行いました。コロナ禍もあり、一同に集まる事が出来ま



せんでしたがZOOMを使い各町村を繋ぎ、56名の参加となりました。

今回の研修には厚生労働省の成年後見制度利用促進ポータルサイト、中核機関紹介動画の撮影が入りましたが、緊張することなく市民後見人さんから活発な発言がありました。

～成年後見制度 Q&A～

Q.成年後見制度の対象者ってどんな人?

A. 病気や障害などによって判断能力が低下し支援が必要となる方です。物忘れがひどくなってきた…。契約の内容がよく分からない…。こんな時には、成年後見制度の利用が考えられます。

Q.お金がなくても利用できるの?

A. 利用できます!所得の条件がないので、どなたでもご利用いただけます。お金に心配のある方は各市町村や法テラスなどの助成もお使いいただけます。

お問い合わせ 京極町生活サポートセンター 後藤 健太・中村 柚乃 TEL 0136-42-3681

【第1回グッドドライバーレッスン2021in蘭越】にNPO法人きょうこの会員が参加されました!

※「グッドドライバーレッスン2021in蘭越とは?」

→2019年に高齢者が運転する乗用車が暴走し、母子が死亡した事故をきっかけにモータースポーツ関係者等てつくるNPO法人グッドドライバーレッスンが札幌にて設立。その初回の講習会が蘭越町にて行われました。

11月3日(水) 蘭越町にて「安全な運転を啓発する」ために開催された当イベントに、NPO法人きょうここ支え合いステーション事業にて「受診支援」や「買い物支援」「ドライブ付き添い」等、運転する機会が多い生活支援の担い手(会員)が参加されました(NPO法人きょうここ多田理事長、多田優美氏、多田英利氏、清水祥子氏)。後日、参加された会員との振り返り会では「安全な運転を心がける意識を再認識する機会となった」「今後の支え合いステーションでの活動に活かすことが大切」との感想がありました。また、「今後は京極町でもこのようなイベントを開催して欲しい」との声もあがっていました。

このような講習に参加したうえで生活支援の担い手として活動して下さることは、支援をコーディネート(調整)する生活支援コーディネーターとしてとても心強いです。今後も、地域の生活支援の担い手にとって学びのある機会を作ったり、繋いでいきたいです。



羊蹄山麓から多くの参加者が集まりました



様々なレッスンが行われました



参加された NPO 法人きょうここ会員の皆様



振り返り会では今後の支え合い活動に活かせる感想が多く話されていました

福祉委員の活動報告

11月・12月に福祉委員協議会を開催しました

コロナウイルス感染対策のため、人数を制限し39町内会を5つの地区に分けて実施しています。

日にち	町内会
11月12日(金)	駅前、新京極、本通り、南本通り、一条通、二条通、三条通、二丁目、報徳
11月15日(月)	一八、望羊団地、東団地、あけぼの団地、旭町、三崎、三崎116
11月17日(水)	ときわ、第2ときわ、第3ときわ、375、東春日
12月3日(金)	三区、共栄一、共栄二、四区、北岡、軽川、中野、松川、更生
12月8日(水)	七区、末次、南京極、川西、芙蓉、京極、十区、ふきだし、錦

委嘱状の交付や、福祉委員の役割の説明、町内会についての情報交換を行いました。

<情報交換の内容>

- ・元気な高齢者が多いが、一人暮らしの方は心配。
- ・仕事をしているので、日々の見守り活動は難しい。
- ・福祉委員一人でなく他の人にも協力してもらいながら、町内会全体でなら日々の見守りもできるかもしれない。等



皆さんのおかげで今年1年間、事業を進めることができました!

福祉委員さんの気持ちや不安を聞くことができ、とても大切な時間となりました。

これからも福祉委員や町内会それぞれに合った活動の方法を考え、話し合う時間を大切にしていきます。

【お問い合わせ】 地域福祉課地域福祉係 後藤龍太郎・三条貴子 ☎:42-3681 FAX:41-2031

京極町地域包括支援センター

自分らしい人生を送るために

私たちは、日頃から様々な場面で「選択」と「決定」を繰り返して生きています。高齢になると、今後の人生に向けてご自身で生き方を選び、決める場面は少なくなると言われています。このような場面が減ることで、ご自身の意向と違った結論に至ることは少なくありません。最期まで自分らしく生きるために、これからの人生に向けてご自身で考えたり、ご家族と話し合っておくことはとても大切なことです。自分らしい人生を送るために、元気なうちから心の準備を始めてみませんか？



医療・介護

- 病気になった時、認知症になった時などで自身で意思表示ができなくなった時にどのような医療や介護を受けたいか？
- ご自身での判断が難しくなった時、誰に判断をまかせたいか？
- どこで最期を迎えたいか？

心構えの例



財産

- 年金や銀行口座、土地などの不動産はどうなっているか？
- 美術品や純金積み立てなど、その他の資産
- 保険や株について

自分らしい人生

お墓・葬儀

- 葬儀の実施や規模、会場はどのようにしてほしいか？
- 連絡してほしい親族や友人
- 葬儀やお墓にかかる費用
- お墓についての希望、埋葬の方法など

相続・遺言

- 自身の財産を誰に残したいか？
- 遺産の分け方の希望
- 遺言書の有無など
- ※遺言書は法律で決められた方式でなければ効力がないため注意が必要



自分らしい人生を送るためのポイント



- ご自身の考えや意向をご家族に伝えましょう。何度でも話し合える関係づくりが大切です。
- 結論を急ぐ必要はありません。お互いの意思を尊重しながら話し合うことが大切です。
- 話し合いで決まったことは「終活ノート」などに書き留めましょう。
- 終活ノートの内容は何度書き直しても大丈夫です。気持ちの変化に合わせて書き換えましょう。
- 終活ノートは家族に向けて書き残すものです。ノートの存在は家族へ伝えておきましょう。

*まずはご自身で考えたいという方は下記までご相談下さい。ご希望の方には終活ノートをお渡しいたします

お問い合わせ 地域包括支援センター (直通 ☎ 0136-55-8615)

居宅介護支援事業所

令和3年度介護報酬改定の概要について

- 1. 感染症や災害への対応力強化
 - 2. 地域包括ケアシステムの推進
 - 3. 自立支援、重度化防止の取り組みの推進
 - 4. 介護人材の確保・介護現場の革新
 - 5. 制度の安定性・持続可能性の確保
- が挙げられています。

介護報酬改定については、次号も概要について説明を行っていきます。



3. 自立支援、重度化防止の取り組みの推進

制度の目的に沿って質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進するとして、必要に応じたリハビリ、機能訓練、口腔、栄養等専門職との連携、強化された質の評価と科学的介護の取り組みの推進、施設系サービスでの寝たきり、重症化防止の取り組みが挙げられています。

科学的介護の取り組みとは計画を立てて実行した利用者の状態など質の評価を厚生労働省へデータ提出した後、フィードバックされた内容を活用していく科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進していくものとなります。

お問い合わせなど

京極町社会福祉協議会
居宅介護支援事業所

☎0136-42-3681 (担当:保村・佐藤)

訪問介護事業所

今回は訪問介護サービスの中の1つ『通院等乗降介助』について説明させていただきます。



『通院等乗降介助』とは…

高齢者(要介護者)や障がいのある方への通院等を支援するサービスです。

訪問介護員が運転する車への乗降介助、乗車前の持ち物等の確認や降車後の移動介助、通院先での手続き等、一連をヘルパーが支援します。(院内の待ち時間、診察室への同行は含まれません)



乗降介助



移動介助

○料金～片道99単位

通院先での
手続き



住み慣れた環境と時間をいつまでも共有できるように在宅生活をサポートいたします

京極町社会福祉協議会 訪問介護事業所

京極町介護予防センター



元気湧く湧くウォークラリー終了!

多くの方に参加していただいた「元気湧く湧くウォークラリー」が10/31で終了しました。今回は新たにシールポイントが4か所増えました。59名の方が参加され、シール帳の配布数は361枚でした。11月から福祉センターで景品を配布しました。達成枚数によって景品は異なりますが、次回のウォークラリーでも使えるものとなっています!また参加者の皆様へお願いしたアンケート結果を、来年に生かしたいと考えています。また次回の「元気湧く湧くウォークラリー」をお楽しみに!



景品を
手にする参加者の
みなさん



元気湧く湧くウォークラリー シール帳ランキング発表!!

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1位 38枚 | 2位 25枚 | 3位 21枚 |
| 20枚以上達成 / 3名 | 5枚以上達成 / 8名 | 1枚以上達成 / 18名 |
| 15枚以上達成 / 3名 | 1枚以上達成 / 18名 | 1枚未達成 / 16名 |
| 10枚以上達成 / 11名 | | |
| | | 計59名 |

	シール設置場所	シール配布枚数
1	福祉センター	2501枚
2	きょう・ここ	2935枚
3	京極町役場	2640枚
4	湧学館	1642枚
5	京極温泉	1228枚
6	名水プラザ	501枚
7	京極集会所	350枚
8	四区集会所	1030枚
9	慶和園	16枚
10	京極八幡神社	952枚
11	森林組合	217枚
12	しずくの森	1699枚
13	後藤田商店	1515枚

「月刊福祉」に
元気湧く湧くウォークラリー
が掲載されます。

全国社会福祉協議会が
発行している福祉の
総合専門誌です。

写真はウォークラリーの
記事です→



寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】9月～11月

【寄贈】・(有)京極石油様 ・森 良様 ・菊地 安治郎様 ・有末 孝子様 ・石井 静江様

【寄付】「福祉基金へ」 中村 恒男様より、京極町の福祉のために
佐々木 百合子様より、夫の故 佐々木 重信様の生前のお礼として
奈良 銘子様より、父の故 後藤 岑夫様の生前のお礼として

ボランティアセンター通信

令和4年1月号

令和3年度ボランティア講座 報告



開催日	テーマ	講師	参加者数
6月30日(水)	みんなが「認め合う」地域づくり	後藤龍太郎 三条 貴子	会場4人 Zoom3人
7月 1日(木)	たすけあいとボランティア	阿蘇 琢生	会場3人 Zoom2人
7月21日(水)	認知症サポーター養成講座	本間亜沙子 保村 貴志 駒田 香奈	会場5人 Zoom2人
8月24日(火)	介護予防とは?	古市 香苗	会場6人
8月26日(木)	アクティブシニア研修 パート1	シーズネット理事長 奥田 龍人氏	会場11人 Zoom4人
9月 7日(火)	介護のキホン	佐藤はるか 片桐 幸子	会場5人
9月14日(火)	つどいの場とは?	古市 香苗 七尾悠太郎 細川 亜紀	会場3人
9月22日(水)	ビデオ通話をはじめてみよう (スマホ・パソコン講座)	阿蘇 琢生 七尾悠太郎	会場20人
9月29日(水)	アクティブシニア研修 パート2	後藤龍太郎 小樽花三サロン 様	会場8人 Zoom7人

今年のボランティア講座はコロナ禍ということもあり、自宅のパソコンやスマホからZOOMを使って参加される方もいて、シニア世代にもインターネットを活用したコミュニケーションが広がっていると感じました。毎年重要なテーマとしてお伝えしている共生社会については「みんなが認め合う地域づくり」と題して、京極町の人口動態やくらしのアンケート結果を紹介し、人口減少・高齢化を見据えた地域づくりについて考える機会となりました。講師は主に社協職員が担っています。わかりやすい!楽しい!参加しやすい!講座を目指し来年も開催しますので、ぜひご参加ください!



あなたもボランティアしてみませんか?

ボランティア活動に興味・関心はあっても、いざ行動となるとハードルが高いという方が多いようです。すぐに活動しなくても良いので、まずはお気軽にご相談ください。お話を聞きし、それぞれに合ったボランティアをご紹介します。ちょっとした助けでも、困っている方にとっては大きな力になります。

京極町ボランティアセンター(京極町社会福祉協議会内)

担当: 阿蘇 琢生・藤波 ひとみ

電話: 0136-42-3681 FAX: 0136-41-2031

メール: kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

ありがとうございました

11月16日・17日、株式会社北海道ロードサービス様が、社会貢献として京極町福祉センター駐車場のライン引きと優先スペースの塗装をしてくださいました。バリアフリー施設としてさらに利用しやすくなりました。善意に感謝致します。



第2回 共楽クラブだより

共楽クラブとは

共楽クラブは昭和40年2月7日に設立した相互扶助団体です。今年で創立56年目になりました。共楽クラブでは昔から変わらぬ『会員相互の親睦と融和』という目的のもと、様々な活動を行なっています。例えば春には研修旅行・夏にはパークゴルフ大会・秋には芸能発表・冬には新年会と、1年通して様々な活動を行っています。今年度はコロナウイルスの拡大で例年のような事業展開は出来ていませんが、工夫しながら今だからこそできる事を模索し活動いたしております。京極町にお住まいの60歳以上の方、いつでもご参加お待ちしております！ご興味のある方は事務局まで一度ご連絡ください！

竹浪クニ子さん後志パークゴルフ大会3位受賞!

10月7日(木)。第1回後志地区老人クラブパークゴルフ親睦大会が倶知安町で行われました。秋涼の時期ではありましたがこの日は晴れ間に恵まれ暖かく、パークゴルフ日和でした。参加者は男女合わせて70名で、京極町共楽クラブからは8名参加いたしました!

結果といたしましては、竹浪クニ子さんが女性の部3位という輝かしい成績を残しました。また、竹浪さんのほか10位内入賞者3名と、京極町共楽クラブの大躍進の結果となりました!

竹浪さんに後日話を伺ったところ、来年も参加の意欲を示しており、次回大会も激戦が予想されます!

来年度は蘭越町で開催予定とのことで、時期が近くなりましたら改めて共楽クラブ会員に向けて案内を送る予定です!



福祉センターでチューリップ球根植え!

つい先日花植えが終わったと思ったら、もう来春に向けたチューリップ球根植えの季節になりました!

今年は21名もの会員様に植え替え作業を行っていただきました。昼前には作業も終わり集合写真を撮って解散いたしました!

毎年恒例となっておりますチューリップの球根植えですが、今年入会された方々にもご参加いただき、例年より作業が活気づいているように見えました!

来年の春、満開のチューリップ花壇を見るのを楽しみにしております!

共楽クラブ会員の皆様、毎年本当にありがとうございます!
職員一同、感謝申し上げます!!



共楽クラブ事務局 京極町社会福祉協議会(阿蘇・石井) 42-3681